

大会長：高橋 良輔 京都大学大学院医学研究科臨床神経学(脳神経内科) 副大会長：山田 正仁 金沢大学大学院医薬保健学総合研究科脳老化・神経病態学(脳神経内科学)  
2021年5月19日(水) ▶ 22日(土) 会場：国立京都国際会館

## 第62回日本神経学会学術大会 「メディカルスタッフセッション」にご参加くださいました皆様へ

謹啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

此の度は、京都で開催しました第62回日本神経学会学術大会にご参加いただき、誠に有難うございました。緊急事態宣言下でしかも大会2日目の夜には大雨に見舞われながらも、お蔭さまで現地参加は1,369名、WEB視聴者を含めると7,200名と、多くの皆様にご参加いただきまして、無事終了することができました。これもひとえに皆様のご協力とご支援の賜物と、心より御礼申し上げます。

今年は新型コロナ変異株まん延による感染拡大という新局面を迎え、一ヵ月先の情勢をも見通せない中で、関係各位のご尽力により何とか計画通りハイブリッド方式での開催を実行することができました。本学術大会運営にあたっては、学会事務局と運営事務局の双方の御協力のもとで、作業を進めることができました。またプログラム編成にあたっては、学術委員や教育プログラムワーキンググループおよび関連の皆様にも、多大な御支援を頂きました。日本神経学会では学術大会国際化の大方針を掲げていますが、今回の企画プログラムの内、シンポジウム等の学術プログラムについては約4割が英語プログラムとなり、一般演題では、口演の約4割、ポスターの約半分が英語となって、さらに国際化をすすめることができました。このように皆様からたくさんの御協力と御支援を頂き、学術大会を開催・運営することができました。ここに改めて感謝申し上げます。

神経疾患には介護度が高いものも多く、長期間の療養を要するものが多いこと、また難治性疾患の多いこと等、他の診療科とは異なった特徴があります。神経疾患診療においては、病気に精通した多職種の連携からなるチーム医療が欠かせません。そこで、本学術大会におきましては従来の学術大会の方針を踏襲して、メディカルスタッフの皆様から演題を募集すると共に、教育セミナーを企画させて頂きました。今回のプログラムがメディカルスタッフの皆様の明日からのお仕事のお役に立つものになったとすれば、大変幸いに存じます。

ここに第62回学術大会の全日程が無事終了しましたことを報告させていただきます。大会を盛り上げていただきました皆様に重ねて心より御礼を申し上げます。

以上、略儀ながら御礼のご挨拶とさせていただきます。皆様の益々のご活躍とご健勝を心よりお祈り申し上げます。

謹白

2021年5月吉日

第62回日本神経学会学術大会

大会長 高橋 良輔

京都大学大学院医学研究科臨床神経学(脳神経内科) 教授

副大会長 山田 正仁

九段坂病院 副院長

金沢大学大学院脳老化・神経病態学(脳神経内科学) 名誉教授

【大会長校事務局】京都大学大学院医学研究科臨床神経学

(脳神経内科)

【学会事務局】日本神経学会事務局

【運営事務局】第62回日本神経学会学術大会運営事務局

日本旅行コンベンショングループ

